

# 安全データシート

## 純水

作成日 2010/5/10

改訂日 2022/4/1

### 1 化学品および会社情報

化学品の名称： 純水  
供給者の会社名称： タイキ薬品工業株式会社  
住所： 福岡市東区東浜一丁目9番4号  
電話番号： 092-641-5736  
メールアドレス： info@taiki-y.co.jp  
推奨用途： バッテリー補充液、ポイラー補給水  
使用上の制限： 工業用途のみ使用可。（医療用、食用、飲用不可）

### 2 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 全項目、分類できないあるいは区分に該当しないとした。  
GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル： 非該当  
注意喚起語： 非該当  
危険有害性情報： 非該当  
注意書き： 非該当  
他の危険有害性： 情報なし。

### 3 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別： 単一物質

化学名又は一般名	成分濃度範囲	化学式	官報整理番号	CAS No.
水	100質量分率%	H <sub>2</sub> O	対象外	7732-18-5

慣用名又は別名： 純水、水、イオン交換水

### 4 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にする。  
皮膚に付着した場合： ガーゼ等の清浄なもので軽くぬぐう。  
眼に入った場合： ガーゼ等の清浄なもので軽くぬぐう。症状があれば医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合： 症状があれば医師の診断を受ける。  
急性症状及び遅発性症状の 情報なし。  
最も重要な兆候症状： 情報なし。  
医師に対する特別注意事項： 情報なし。

## 5 火災時の措置

適切な消火剤：	周辺の火災時には水、水噴霧、粉末消火薬剤、耐アルコール性泡消火薬剤、二酸化炭素、土砂等。
使ってはならない消火剤：	特になし。
火災時の特有の危険有害性：	特になし。
特有の消火方法：	移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項：	特になし。
封じ込め及び浄化方法と機材：	危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。
二次災害の防止策：	特になし。

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は、手、顔などをよく洗うこと。

接触回避： 『10. 安定性及び反応性』を参照。

### 保管

安全な保管条件：	直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い涼しい所で保管すること。
安全な容器包装材料：	ポリエチレン、ポリプロピレンの容器が適切。

## 8 ばく露防止および保護措置

許容濃度：	日本産衛学会            2021年版            設定されていない
	ACGIH                    2021年版            設定されていない
設備対策：	装置や薬品の移送に用いるホースなどは耐食性や耐久性のあるものを用いる。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具：	保護マスク。
手の保護具：	保護手袋。

眼及び/又は顔面の保護具：	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）顔面シールド。
皮膚及び身体の保護具：	保護衣。前掛け、保護長靴等。
衛生対策：	取扱い後は手を洗うこと。

## 9 物理的および化学的性質

物理状態：	液体
色：	無色
臭い：	無臭
融点/凝固点：	0°C
沸点、初留点及び沸騰範囲：	100°C
可燃性：	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界：	不燃性 不燃性
引火点：	不燃性
自然発火点：	不燃性
分解温度：	データなし
pH：	5～8
動粘性率：	$1.004 \times 10^{-6} \text{ m}^2/\text{S}(20^\circ\text{C})$
溶解度：	メタノール、エタノール、アセトン、イソプロピルアルコール、アセトニトリル、 1,4-ジオキサンに混和。 塩酸、硫酸、硝酸、アンモニア水に混和。
n-オクタノール /水分配係数（log値）：	Log Pow = -1.38
蒸気圧：	0.1MPa(100°C)
密度及び/又は相対密度	1g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度：	データなし

## 10 安定性および反応性

反応性	
化学的安定性：	常温下で化学的に安定、空気中の二酸化炭素が溶け込み徐々にpHが低下する。
危険有害反応性可能性：	データなし。
避けるべき条件：	高温。
混触危険物質：	禁水性物質。（酸化カルシウム等）
危険有害な分解生成物：	電気分解により、酸素と水素のガスが発生する。

## 11 有害性情報

急性毒性（経口）：	ヒト幼児 LDL0値 333 g/kg けいれん、発作、発熱
	ヒト男 LDL0値 42.86 g/kg ふるえ、筋萎縮

ラット LD50 86000～360000mg/kg

無機塩類などの不純物をほとんど含有していないので、飲み込むと下痢、むかつき、胃痛、腹痛、嘔吐の障害が現れることがある。また、残留塩素を含んでおらず、誤飲すると、食中毒を起こす原因となることがある。

人間の腎臓が持つ最大の利尿速度は毎分16mlであるため、これを超える速度で水分を摂取すると体内の水分過剰で細胞が膨化し、低ナトリウム血症を引き起こす水中毒に陥る可能性がある。

急性毒性（経皮）：	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：蒸気）：	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：ミスト）：	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/皮膚刺激性：	データ不足のため分類できない。
	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性：	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性：	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性：	データ不足のため分類できない。
発がん性：	データ不足のため分類できない。
生殖毒性：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器（単回ばく露）：	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性：	データ不足のため分類できない。

## 12 環境影響情報

生態毒性：	
水性環境有害性 短期（急性）：	データ不足のため分類できない。
水性環境有害性 長期（慢性）：	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性：	データなし。
生態蓄積性：	データなし。
土壌中の移動性：	データなし。
オゾン層への有害性：	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため区分に該当しないとした。

## 13 廃棄上の注意

残余廃棄物：	他の物質との混合がなければそのまま下水放流する。混合がある場合は、関連法規・地方自治体の基準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装：	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14 輸送上の注意

**国際規制**

海上規制情報	非該当
航空規制情報	非該当
国連番号：	非該当
品名（国連輸送品名）：	非該当
国連分類：	非該当
容器等級：	非該当

**MARPOL73/78附属書II及び****IBCコードによるばら積み輸送される**

液体物質：	非該当
-------	-----

**国内規制**

海上規制情報：	非該当
---------	-----

航空規制情報：	非該当
---------	-----

**特別の安全対策：** 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。他の危険物のそばに積載しない。

<b>緊急時応急措置指針番号：</b>	非該当
---------------------	-----

**15 適用法令****法律名****海洋汚染防止法****外国為替及び外国貿易法****法規区分名**

有害でない物質（施行令別表第1の2）【18 水】

輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS 2853 リン化合物（化学的に単一であるかないかを問わないものとし、りん鉄を除く。）、その他の無機化合物（蒸留水、伝導度水その他これらに類する純水を含む。）、液体空気（希ガスを除いてあるかないかを問わない。）、圧縮空気及びアマルガム（貴金属のアマルガムを除く。）】

**16 その他の情報****参考文献**

日本ケミカルデータベース(株) 化学物質法規制検索システム  
緊急時応急処置指針 容器イエローカード（ラベル方式）への適用  
国立環境研究所 化学物質データベース（<http://w-chemdb.nies.go.jp/>）  
厚労省 職場のあんぜんサイト  
（[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/GHS\\_MSD\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx)）  
国際化学物質安全性カード（ICSC）（<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>）  
NITE 化学物質総合検索システム GHS分類結果データベース  
（<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>）  
NITE-Gmiccs GHS混合物分類判定ラベル作成システム  
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター（<http://www.jaish.gr.jp/>）

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の実用を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本文書は日本産業規格 JIS Z7253:2019に基づいた文書です。